

地震が縁に ① 交流試合

七尾と京都・八幡のリトルシニア

京都府八幡市の中学生硬式野球チーム「京都八幡リトルシニア」と、七尾市の「能登リトルシニア」の交流試合が16日、同市の七尾城山野球場であった。両チームは17日にも試



懸命にプレーする選手＝七尾市の七尾城山野球場で

合をする。

能登半島地震を機に両チームの交流が始まり、京都八幡シニアが昨年11月、能登リトルシニアを本拠地に招き、練習試合と懇親会を開いた。今回はその「恩返し」として企画された。

試合には両チームの3年生計25人が参加。選手たちは、中学生生活最後の夏の思い出をつくろうと、懸命にプレーした。能登リトルシニアの橋屋虎雅^{たいが}主将（七尾市七尾中3年）は「相手の明るくフレンドリーな選手たちに助けられた」と昨年の訪問を振り返って感謝。京都八幡リトルシニアの藤田頼音^{らうおと}主将（八幡市男山東中3年）は「初めて被災地に来て、壊れた道路や家がまだ残っているのを見た。大変な状況の中、練習していた選手たちは本当にすごい」と話した。

（浜中創太）